



はじめに

石川, 慎一郎

(Citation)

統計数理研究所共同研究レポート, 456

(Issue Date)

2022-03-03

(Resource Type)

other

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81013064>



はじめに

本報告書は、2021年度に実施された統計数理研究所共同利用研究（一般研究1）「言語データと学習データの融合的処理に関する統計的考察（A Statistical Analysis of Language Data and Learning Data）」（課題番号：2021-ISMCRP-1006）（研究代表者：石川慎一郎）の成果をまとめたものである。本報告書は、統計数理研究所共同研究リポート No. 456 として刊行された。

代表者・報告書編者

石川 慎一郎 神戸大学 教授

所内共同研究者

前田 忠彦 統計数理研究所 准教授

共同研究者（上記2名を除く）

井上 聡 環太平洋大学 教授

中尾 桂子 大妻女子大学短期大学部 教授

今道 晴彦 広島大学 准教授

李 楓 西安理工大学 准教授

森下 裕三 環太平洋大学 准教授

張 晶鑫 湖北大学 講師

中西 淳 大阪工業大学 特任講師

鄧 琪 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程

肖 錦蓮 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程

安 美彦 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程

佐々木 恭子 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程

堀家 利沙 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程

陳 迪 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程研究生

廉 沢奇 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程研究生

陳 玲 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程特別研究生

発行所 統計数理研究所（〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3 Tel 050-5533-8500）

発行日 2022年3月3日

オンライン版発行所 神戸大学大学教育推進機構石川慎一郎研究室（〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲 1-2-1 Tel 078-881-1212）

過去の研究課題・レポート番号

平成 17 (2005) 年度

言語コーパスからの共起語検出における統計指標の研究 (No. 190)

平成 18 (2006) 年度

日英語の基本語の抽出における統計 (No. 199)

平成 19 (2007) 年度

学習者コーパスの解析に基づく客観的作文評価指標の検討 (No. 215)

平成 20 (2008) 年度

コーパス言語研究における量的データ処理のための統計手法の概観 (No. 232)

平成 21 (2009) 年度

言語コーパス分析における数理データの統計的処理手法の検討 (No. 238)

平成 22 (2010) 年度

コーパスを用いた記述的言語研究と統計 (No. 256)

平成 23 (2011) 年度

統計手法を利用した言語データ分類 (No. 277)

平成 24 (2012) 年度

計量的言語データ処理法研究 (No. 290)

平成 25 (2013) 年度

言語変種調査における統計処理 (No. 308)

平成 26 (2014) 年度

コーパス頻度データの統計的加工 (No. 340)

平成 27 (2015) 年度

応用言語学研究における計量手法の検討 (No. 353)

平成 28 (2016) 年度

統計的アプローチで探る応用言語学と外国語教育のインタフェース (No. 373/374)

平成 29 (2017) 年度

コーパスから得られた頻度情報の計量処理に基づく多言語の特性解明 (No. 400)

平成 30 (2018) 年度

言語特性の量化によるテキストの探索的・検証的分析 (No. 414)

令和元 (2019) 年度

言語テキストの内的構造に対する数理的アプローチ (No. 435)

令和 2 (2020) 年度

第二言語の言語知識と言語産出の関係性の解明:統計的アプローチによる検討(No. 444)

令和 3 (2021) 年度

言語データと学習データの融合的処理に関する統計的考察 (No.456)

No. 456 目次

陳 玲 日本語縦断学習者コーパス「B-JAS」のストーリーライティングタスクに見る中国人日本語学習者の語彙習得過程—語彙量・語彙多様性・語彙難度・品詞・特徴語の計量的分析—	1-20
陳 迪 書き言葉・話し言葉を含む 72 変種のコーパスデータの調査に基づく「重要漢語動名詞 200」の抽出の試み	21-41
張 晶鑫・孫 言 中国の日本語教科書における外来語の文化提示—BCCWJ と『分類語彙表』を踏まえた計量調査—	42-50
今道 晴彦 現代ドイツ語学術テキストにおける名詞文体—コーパスに基づく計量的分析—	51-62
井上 聡 ポストコロナを見据えた授業設計の在り方—ハイブリッド型教育を促進するためのデータ解析—	63-72
石川 慎一郎 時代変種と学習者変種の観点から考える日本語終助詞—時系列日本語小説コーパス「6121JFIC」と国際日本語学習者コーパス「I-JAS」を用いた統合分析の試み—	73-88
李 楓 漢語サ変動詞の振る舞いの測定単位—テンス, アスペクト, ヴォイスに注目して—	89-104
中尾 桂子 音素に基づく性差判別の試み—BCCWJ の創作会話と CWPC の自然会話を比べて—	105-116
廉 沢奇 話し言葉 10 種の言語データのコーパス調査をふまえた日本語学習者のための ABAB 型基本口語オノマトペの選定	117-129
佐々木 恭子 日本人学習者の英語意見表明文での because による因果表出傾向	130-148
肖 錦蓮 I-JAS の対話課題における中国人日本語学習者のヘッジ使用と習熟度の関係	149-165
鄧 琪 現代日本語における漢語副詞の仮名表記問題に対する—考察— 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」を用いた計量的調査—	166-185
友永 達也・石川 慎一郎 小学生による成功した「話し合い」の特徴—自己評価・学力・学習態度・発話データに基づく統合的分析—	186-204